

データベース化します。主に病院前蘇生記録+搬送先病院の治療体制+病院到着後の治療について調査し、治療経過、神経学的予後との関連を調べます。

問い合わせ先:	<p>【研究担当者】            氏名: 田島 吾郎 (医師) 長崎大学病院 高度救命救急センター            住所: 長崎市坂本1丁目7番1号            電話: 095 (819) 7765 FAX 095 (819) 7978            【ご意見、苦情に関する相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)            苦情相談窓口: 医療安全課 095 (819) 7616            受付時間: 月~金 9:00~17:00 (祝・祭日を除く)</p>
研究課題名:	低体温症患者の医学情報等に関する疫学調査
所属(診療科等):	長崎大学病院 高度救命救急センター
研究責任者(職名):	平尾 朋仁 (助教)
共同研究機関:	<p>帝京大学医学部附属病院救命救急センターおよび日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設で行います。            帝京大学医学部附属病院 (代表施設)            代表研究責任者: 帝京大学医学部 救急医学講座 助手 神田 潤            代表研究分担者: 帝京大学医学部 救急医学講座 教授 三宅 康司            データは代表施設のみに送付され、他の共同機関では使用されません。本研究の共同研究機関をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
研究期間:	2018年12月11日~2020年3月31日
研究目的と意義:	山における遭難等で低体温症による死亡と考えられる事故が報道されることがありますが、本邦における低体温症の実態については、ほとんど解明されていないのが現状です。本研究は、低体温症の全国規模の実態調査であり、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、得られた結果から発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討する意義があります。
研究内容:	<p>●対象となる患者さん            2018年12月1日から2019年2月28日までに長崎大学病院高度救命救急センターを含む共同研究機関の救急医療施設において、低体温症と診断され入院した全ての患者さんが対象となります。</p> <p>●利用する情報            年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見(身体所見・検査所見・重症度スコア)、発生原因、治療法および転帰            本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>●研究方法            上記のカルテ情報を匿名化し、日本救急医学会熱中症に関する委員会に登録します。その後、集計・解析を行い、発生予防を含めた対策について検討を行います。</p>
問い合わせ先:	<p>【研究担当者】            氏名: 平尾 朋仁 (医師) 長崎大学病院 高度救命救急センター            住所: 長崎市坂本1丁目7番1号            電話: 095 (819) 7765 FAX 095 (819) 7978            【ご意見、苦情に関する相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)            苦情相談窓口: 医療安全課 095 (819) 7616            受付時間: 月~金 9:00~17:00 (祝・祭日を除く)</p>
研究課題名:	外傷センター開設と外傷患者の搬送状況に関する地域網羅的解析
所属(診療科等):	長崎大学病院 高度救命救急センター
研究責任者(職名):	田崎 修 (教授)
共同研究機関:	この研究は長崎大学病院のみで実施します。